

いたわい



一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会情報紙

【発行人】鈴木一良 【編集・発行所】(一社)茨城県福祉サービス振興会

【編集委員】小室博俊、安藤真理子、柳下文江、桐原久雄

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館5階

TEL.029-241-6939 FAX.029-241-6799



腰痛予防のための対策は —講演会・腰痛予防機器展示体験会を開催—

腰痛予防講演会で、

(一社)茨城県福祉サービス振興会主催で、去る七月九日、腰痛予防のための講演会を開催しました。

第一部では、「介護現場における腰痛予防対策」と題し、厚生省が19年ぶりに行った「職場における腰痛予防対策指針の改定等」に携わった公益財団法人テクノエイド協会常務理事本村光節氏が、講演しました。

**腰痛は職業性疾病の4割！
福祉用具の積極的活用を！**
本村氏は、腰痛は職業性疾病の4割を占め、介護作業による腰痛発生は移乗介助の際に多く発生する。その対策としてはリフト等の福祉用具の積極的活用である。厚労省のリフト等介護機器への助成金や雇用管理制度助成金等の積極活用を促した。

富山県の腰痛予防対策

第二部では、富山県介護実習・普及センター所長の押川なおみ氏が、「富山県における腰痛予防対策推進事業の取り組み」を紹介した。

**ねらいは！
腰痛軽減と人材の定着等**
この事業のねらいは、①介護職の腰痛軽減と介護人材の確保と定着②福祉用具の活用促進と腰に負担をかけない介護技術の定着である。

**実現には
管理者の意識改革**
実現には、管理者の意識を変える必要がある。そこで指導者育成に重点を置いた研修に取り組んだ。
平成23年度から、腰痛の実態調査、リフトリーダー養成等の腰痛

予防推進研修、指導者育成研修、取り組み事例報告会の開催等を実施した。

さらに、平成25年10月には、腰痛予防対策モデル施設2施設を指定し、施設内での取り組みに加え、他施設での普及を促進するため当該施設での研修生の受け入れを義務づけた。

**腰痛保有率が
驚異的に改善！**
腰痛予防対策を実施したモデル施設では、腰痛保

有者の減少（K施設48%
↓31% S施設従来型52%
↓40% ユニット型70%
↓40%）、腰痛による離職者の減少、職員のモチベーションの高まり、腰痛予防対策のスピードアップなどの成果をもたらした。

**モデル施設の指定、
県内に4か所を**

今後は、県内の広域圏とともに腰痛予防対策モデル施設を指定し、当該施設での指導者育成研修を進め一層の普及促進を図る、とした。

*講演資料の問い合わせは、
当振興会研修担当まで
029(241)6939



アイ・ソネックス(株)
スカイリフト・床走行

小回り性が高く、移動や移乗がスムーズなスタンディングリフト。小さくてもしっかり。車イスに差し込める超コンパクトサイズ



代表的な展示機器!

今回の講演に合わせて、リフトメーカー等の13社の協力を得て、リフト等の展示体験を行いました。展示会では、腰痛予防のための機器の特徴、使用方法の説明、体験等を行い、好評を得ました。今後、予防機器の活用が進むものと期待しています。

**腰痛予防機器
展示体験会で
13社が出展**

(株)竹虎ヒューマンケア事業部
かるがる・天井走行リフト
改修工事不要で設置簡単



(株)いうら
リフト付シャワーキャリー
簡単操作、簡単取付
工事不用のレールを浴槽に設置するだけ



アビリティーズ・ケアネット(株)
マキシツイン・床走行
安定性、優れた操作性
アイコンタクトができるオープンデザイン



(株)ミクニ
ベッド設置型リフト

ベッドからの車いす、ポータブルトイレなどへの移乗に便利、多関節アーム採用の巻き上げリフト、浴室でも



フランスベッド(株)
床走行リフト

手元リモコンでらくらく操作、床面からの吊り上げも容易、畳の部屋でも



パラマウントベッド(株)
走行式電動介護リフト

揺れの少ないアルミフレーム製、コードレス(充電式)で便利



(株)東和
腰部サポートウェア「ラクニエ」
腰が楽、動作も楽

腰部サポートウェア
rakunie
ラクニエ

楽に動いて、楽しく働く。

腰が楽、動作も楽。
いつものツライ
前屈作業が変わる。

ラクニエは、
日常動作の負担をせず、
深く前屈したときだけ腰をサポートする。
これまでにない画期的なウェアです。

2012年度
グッドデザイン賞受賞

(株)ウィズ
トランスファーシート
円筒状で滑りやすい。ベッド上での位置修正や、移乗に



円筒状で滑りやすい。ベッド上での位置修正や、移乗に。

(株)モリトー
**つるべーBセット・
ベッド固定型リフト**
アーム360度回転可能、広い範囲で使用可、組み立て簡単



*詳細は、当該企業のホームページで

ミドリ安全茨城(株)

**腰痛保護ベルト
ニュースーパーリリーフ**

腰にかかる負担約3割軽減
装着が簡単



富士ソフト(株)

**コミュニケーションロボット
PALRO (パルロ)**

人間のように会話、顔を見れば元気良
くあいさつ。癒し、元気、学び、多く
の喜びを提供



積水ホームテクノ(株)

**介護、自立支援設備ウェルス
リフト付シャワーキャリー**

脱衣室からバスタブまで立ち上がりず
スムーズ移動、介助者の腰痛予防、入
浴者の快適な入浴をサポート



**職場での腰痛を
予防しましょう!**

**腰痛予防指針(厚労省)の
予防ポイント、
作業別予防対策から**

〔介護・看護作業に係る予防対策〕

- ① リスクアセスメントの実施
合理的・効果的な腰痛予防対策を立
てる。
 - ② 福祉用具の活用
人を抱え上げる作業は、原則、人力
では行なわせない。
 - ③ 確認する体制の整備 (マネジメント
システム)
定期的な職場の巡視、聞き取りなど
を行い、新たな負担や腰痛が発生し
ていないか確認する。
- 〔リスクアセスメントとは〕**
- ① それぞれの作業内容に依じて、腰痛
の発生につながる要因を見つけ出す。
 - ② 想定される腰部への負荷の程度を、
作業頻度などからその作業のリスク
の大きさを評価する。
 - ③ リスクの大きなものから対策を検討
して実施する。

**〔労働安全衛生マネジメントシステム
とは〕**

- ① リスクアセスメントを基に、
 - ② 予防対策計画立案 (Plan)
 - ③ 実施 (Do)
 - ④ 結果の評価 (Check)
 - ⑤ 見直し・改善 (Act)
- この一連のサイクル (PDCA) に
より、継続的・体系的に取り組むこと。
- *詳細は、厚生労働省ホームページ
を

お知らせ・情報コーナー

人材育成講演会、ほめ達

絶賛! 話題沸騰中!

とき 10月10日(金)
午後13時30分から

ところ 茨城県総合福祉会館

講師 西村 貴好 氏
日本ほめる達人協会理事長
家業のホテル運営で人材不
足、ほめ達に

受講料 5,000円

NHK「クローズアップ現
代」2回登場ほか多数
著書「繁盛店のほめる仕組
みは」(同文館出版) 増刷中

下期の介護講座・研修

新「リフトリーダー養成研修」
(10月14、15日)、
新「福祉用具プランナー研修」
(10月22、26日、11月14、16日) など
*詳細は、当茨城県福祉サービス振興
会ホームページを。
問合せ先
029 (241) 69399
(一社) 茨城県福祉サービス
振興会 研修担当まで

来て・見て・ふれて

茨城県総合福祉会館 1階展示ホールへ

月	テーマ	メーカー	商品名特徴
10月	介護用ベッド	フランスベッド(株)	フロアーベッド 超々低床介護用ベッド
11月	車いす	(株)イーストアイ	イーストライダー 足こぎ3輪車いす リハビリにも有効
12月	ポータブル トイレ	アロン化成(株) パナソニックエイジフ リーライフテック(株)	家具調トイレAR-SA1 高機能トイレ 座楽ラフィーネ 高機能、高性能トイレ
1月	歩行者補助手すり	(株)モルテン	ルーツ 床置き型手すり

(株)常陽銀行



取締役頭取 寺門一義
 昭和10年7月30日設立
 従業員数：3,671人（平成26年3月現在）
 本店：〒310-0021
 茨城県水戸市南町2-5-5
 電話：029-231-2151
 ホームページ：http://www.joyobank.co.jp/

福祉分野への取組

(株)常陽銀行では、介護事業者の方々のさまざまなニーズにこたえるために、平成23年10月より、営業推進部に「医療・福祉チーム」を設置。銀行の本来業務である預金や融資の面のサポートに加え、経営に役立つ情報や、コンサルティング機能の提供など、お客様の課題解決に向けたサービスを提供している。

また、地主向けのサービス付高齢者向け住宅専用ローン「シルバーステージ」の新設や、ヘルスケアファウンドに出資するなど福祉分野に積極的に取り組んでいる。

一方でお客様へのサービス向上をめざして、行員教育も強化している。茨城県と締結した認知症普及啓発企業連携事業協定に基づき全行員（パート含む）が既に認知症サポーターの認定を受けるとともに、サードピア士2級取得者の養成にも取り組んでいる。

経営理念

「健全、協創、地域とともに」

(株)常陽銀行は、昭和10年7月、水戸市に本店を置く常磐銀行と土浦市に本店を置く五十銀行が合併して設立された。

その経営理念は、「堅実な営業、健全な経営を行い、お客様・地域・株主の方々と共に価値ある事業を創造していくことにより、地域社会・地域経済の発展に貢献していく」ことを目的としている。

「コムズハウス」に住んでいけば

安心・生活しやすい

(株)コムズケア水戸は、「高齢者が末永く安心して住み続けていける住宅」を目的として平成22年に創業、最初の施設として昨年3月サービス付高齢者住宅「コムズハウス佐和」がオープンした。当社の理念がこもった「コムズハウス」の特徴は以下の4点だ。

- ・「安心」のある住まい
 スタッフが24時間常勤し、安否確認サービスもあるので安心。
- ・「自由」のある住まい
 主役はあなた。自分らしい生活を楽しむ。
- ・「選択」のある住まい

(株)コムズケア水戸（新会員・26年度）



代表取締役 仁平 慎一
 〒311-4151 水戸市姫子1-781-7
 TEL：029-291-5615
 FAX：029-291-5616
 ホームページ：http://www.coms-care.com/

デイサービス・美容サービス・買い物代行サービス・郵便受取等々、その時々自分のニーズに併せ選択。「交流」のある住まい

近すぎず離れすぎず、スタッフがほどよい距離で、「コミュニケーション」コムズハウスは、要介護1〜5の入居者が18の居室で生活している。施設内に「ディゆうなぎ」を併設、毎日入居者の笑顔が絶えない。

「つい先日にも、ひたちなかの花火大会に、多くの入居者様と出掛け花火を観ながら、鉄板焼きとソフトドリンクで大盛り上がりでした。」「お泊り、体験入居、生活保護のお客様の相談も受け付けています。お気軽に遊びに来てください。」とのことである。

編集後記

知人からの話

「じいちゃん」と孫から呼ばれて、早70歳。働けるうちが「華」と言いつつ、介護のお世話になるのが恐い。こうなったら、オリンピック迄働くぞ！」

(好々爺)